73. 北欧のガラスファサード建築と夜景デザイン

山家 哲雄

(日本大学生産工学部)

1. はじめ

大面積を透明な強化ガラスで覆った「ガラスファサード建築」は、1960 年代頃から欧米で姿を現し、その斬新なデザイン性から一躍ブームを呼んだ。わが国では 1990 年代半ばに入り、ようやく導入がされ始め、今日に至っては日本各地に多くの「ガラスファサード建築」が建ち、その斬新で美しいデザイン性とその夜景デザインが我々の心を魅了して止まない。

で著者が現地調査した「ガラスファサード建築」とその夜景デザインについて報告するものである。

2. ガラスファサード建築と夜景デザイン^{(1)~(4)}

図1に北欧五カ国の各都市(デンマーク王国・コペンハーゲン市、スウェーデン王国・ストックホルム市、ノルウェー王国・オスロ市、フィンランド共和国・ヘルシンキ市、アイスランド共和国・レイキャビク市)で現地調査した「ガラスファサード建築」とその夜景デザイン事例を示す。

図1 北欧五カ国のガラスファサード建築とその夜景デザイン事例

3. まとめ

以上の様に、デザイン先進国と言われる北欧五カ国では、多くの「ガラスファサード建築」を見かけた。それらは単板のガラスを用いた単なるモダンな「透明建築」ではなく、ファサードに複層ガラスやダブルスキン工法を用いたものなどが多かった。その結果それらの夜景デザインは、複層構造のガラスファサードを透して得られる優しい透過光による色相の重なりや見え方(透明度)の変化を重視したものに仕上がっており、北欧の厳しい自然環境と調和する人間のための機能美、そして何よりも優しさと温もりを感じさせるデザインである。最後に、本研究は日本大学海外派遣研究の一部として実施されたことを付記する。

《参考文献》

- (1) Tetsuo YAMAYA: "Lightscape Reports in the Five Countries of Northern Europe", Proceedings of the International Lightscape Conference, IliC2001 in Shanghai, pp.233-239 (2001)
- (2) Tetsuo YAMAYA: "The Urban-Lightscape Design in Northern Europe", Proceedings of the Pacific Basin Lighting Congress, LUX PACIFICA 2002 in New Delhi, pp.375-378 (2002)
- (3) 山家哲雄:「北欧デザインと都市景観照明のあり方について」、第17回光源物性とその応用研究会資料、(社)照明学会、pp.23-32 (2002)
- (4) Tetsuo YAMAYA: "The Urban-Lightscape Design in the Principal Cities of Northern Europe", Proceedings of the Session of the CIE in San Diego (2003) -contributing-

The Glass Facade Buildings and its Lightscape Designs in the Scandinavia
Tetsuo YAMAYA